



# 火鍋

5day/9days



# 激旨!! 激辛!!

## Beloved Luoyang

[非公式]

14.12億回視聴 2023/08/02 #洛陽 #岡山市 #海外子ども派遣 …もっと見る

晴 ABE Haru 665万人

チャンネル登録



### 【龍門石窟】

龍門石窟はユネスコの世界文化遺産に登録されている歴史のある石窟寺院です。伊河のほとりに1kmにわたって広がっています。龍門石窟には大小無数の仏像があり、圧倒的なサイズ感と迫力を感じました。中には細部まで作りこんである2cm程の小さな仏像もあり、とてもかわいらしかったです。



### 【洛陽古城】

4000年以上の歴史があり、9か国の国々、100人以上の帝王たちが都としたことから九朝王都や千年帝都とも呼ばれています。中はとても広くたくさんの屋台が並んでいました。伝統衣装は派手なものから僕が着ているような質素なものまで多くの種類がありました。日本の着物とは違い、着付け方もシンプルでとても着やすかったです。



### 【ホストファミリー】

初めての中国で緊張も多い中、優しく、親身になって接していただきました。私のペアの趙君は頑張って日本語で話しかけてくれてとてもうれしかったです。たくさんの観光スポットに連れて行ってくれたおかげで、多くの感動を覚えることができました。最後には新しくできた学校の友達と一緒にバスケットボールができて最高でした。



### 【応天門】

応天門は歴史のある建物で、過去に何度も焼き払われましたが、その都度、たくましく蘇り、復興されてきました。建物の周りは花で囲まれ、とても美しかったです。特に黄金に輝く大仏は強く印象に残りました。何度も蘇る建物からは気品と迫力を感じました。

# 中国洛陽 新聞

【発行所】 岡山大学教育学部附属中学校  
1-B 山村昇  
【派遣期間】 令和5年7月25日～8月2日

僕は今回、岡山市子ども海外派遣事業の派遣団のメンバーとして中国の洛陽市に行ってきました。日本から近い中国ですが、意外と「旅行で行ったことがある！」という人は少ないのではないのでしょうか？僕が体験した、身近な中国情報をご紹介しますので是非中国を訪れてほしいです。中国最高！

## 滞在中の主なタイムスケジュール

- 7/25 岡山から関空→上海へ
- 7/26 上海→洛陽
  - ①龍門石窟 ②洛陽博物館
  - ☆歓迎夕食会
- 7/27 ③洛陽第二外国語学校
  - ☆牡丹陶磁器芸術館 製作体験
- 7/28 ④漢服着付け体験 洛邑古城散策



- 7/29 ホストファミリーと自由⑤
- 7/30 ホストファミリーと自由⑥
- 7/31 餃子と一緒に作る交流会  
国語芸術授業 国画、切り絵アート
- 8/1 洛陽→上海→関西空港
- 8/2 関西空港→新大阪→岡山



## 名場面ギャラリー



【龍門石窟】中国三大石窟 実物のほうが迫力がある



【洛陽博物館】中国の歴史をたくさん知ることができる



【洛陽第二外国語学校】グラウンドも広く学食もおいしい



【漢服着付け体験】意外と動きやすい



【応天門】ドローンが多い



【食事】外食が多い。果物が安くて美味しい

## まとめ・感想

一言でいうと、中国が大好きになりました。行く前より行った後のほうが当然ですが愛着が強くなりました。また、日本と中国の違いをたくさん感じました。店員さんがフレンドリー・バイクで移動している人がたくさんいる・食事が安い・会話をする時の声がとても大きいなどです。帰りたくないくらい中国が大好きになりました。ぜひ遊びに行ってください。中国での食事は昼も夜も外食が多く家族の時間がたくさん取れるのでいいな思いました。昼休みが長く、学校にあるバスケットコートで友達とバスケットができて楽しかったです。ちなみに日本からのお土産は桃太郎の絵のついた個包装のきびだんごが一番人気でした。今回の派遣で中国の素晴らしさを体験することができ本当に感謝しています。謝謝！ちなみにコミュニケーションは英語でした。また中国に行きたいと思いました。



学食もおいしい  
食事が合わない心配は全くの杞憂でした



隋唐洛陽城



中国は物価が安い  
1元が約20円(ペpsiが80円)



# 洛陽市へ行って ～優しい人々と歴史の町～



2年 西実和子

## 中国の人々との交流

出会った中国の人々は一握りですが皆さんとても優しくかったです。分からないところがあったら丁寧に教えてくれたりと、困ることは本当に無かったです。

中国の人々は主体性があって、気さくで明るくて感情に正直で話していてとても楽しく、面白い。

また、失敗を気にせずチャレンジ精神が強いところはとてもいいなと思いました。



## ホストファミリーとお友達

ホストファミリーの方々には色々な場所に連れて行ってもらいました。例えば日本では見たことがない3人乗り電動自転車に乗せてもらい、夜の洛陽と一緒に探索しました。



仲良くなったホストファミリーのお友達と一緒に焼き肉店でご飯を食べて更に仲を深めたりと、驚きと感動がたくさんあり感謝がありません。ホストファミリーの皆さんは、歴史が好きな私に家でも外出先でも色々教えてくれました。

コナンが大好きな友達は、来年日本に来ると話していました。

日本が好きな方が増え、日本でも中国が好きな方が増えていくといいと思います。



## 【編集後記】

中国に行く前は、大丈夫だろうか少し怖いなと思っていたのですが終わってみると、行って良かった！が沢山あり新たな発見もありました。私が今回一番学んだのは自分の目で見ることの大切さです。どの国においても、良い面にしても悪い面にしてもイメージだけで決めるのではなく、実際に行ってみて現地の人々と交流することで分かることは沢山あります。自分の持っていたイメージが覆されることもあります。そこがまた面白いと思います。

私は情報だけで決めつけず、自分の目で見てしっかりと考えられる人間になりたいです。

## 食文化

中国の食べ物はさっぱりしたものが多く日本とは違い、脂が多めで味が濃いものが多いです。その油の量は茄子が光るほど…。

食事のマナーも少しありますが日本と違います。例えば日本で完食するのがいいとされていますが中国では一口ほど残します。完食すると「まだ足りないんだな。」と思い、次の食事の時には量が増えていることがあります。今では完食しても量は増えることはあまりありませんが、風習として残っています。私はそこにおもてなしの心がたくさん込められているような気がしました。



## 伝統衣装

中国の歴史は長く、衣服も時代とともに変わってきました。その種類は一つだけではなく、時代の特徴を表しています。私たちは洛陽古城で服を選んで着ました。どの服も個性があり選ぶのに本当に迷いました。私はシンプルな明服を着ましたが、ゆったりしていて日本の着物より動きやすかったです。他の人たちは中国の少数民族の衣装や模様が豪華な服を着ていたり、見ているだけでもとても楽しかったです。その服のままみんなで洛陽古城を散策し、昔の時代にタイムスリップしたようでとても印象に残っています。



## 中国の学校

今回訪れた洛陽の第二外国語学校は大学のキャンパスと見間違えるほど大きく、校内も日本ではありえないものばかりあり

ました。学校のグラウンドは競技場のようで、初めは公園かと思いました。また、図書館は独立しておりとても大きいです。ソファなどもあり「本当に学校の図書館!？」と驚きました。



そして中国の音楽と習字の授業を受けましたが内容が深く、特に習字は日本の習字とは全然違いました。さらに音楽の授業では銅鑼が進化した楽器、独特の笛や中国の琴を弾いてみました

日本だったら知ることもなかった楽器や習字に出会うことができ本当に良かったです。

第二外国語学校の生徒は月曜日から金曜日まで寮で生活し、土日に家族のもとへ帰るそうです。同じ中学生でも通学の仕方が随分違うと思いました。





# 中！ Luoyang♡

2023.7.25~8.02

神崎 心玖

## カタカナ中国語

“你好”，“谢谢”，“再见”などの中国語のあいさつは日本でも知っている人が多いと思います。しかし、例えば“谢谢 xiexie”を「シェイシェイ」や「シェーシェー」など日本語のように言うと、何となく気まずい空気が流れていると感じました。実際「シエシエ」に近い発音です。中国語を教えてもらう時カタカナ厳禁と言われたのがわかったような気がしました。

## “中 zhong”とは？

洛陽市のある河南省の方言で“普通话”の“行xing”と同じように「いいね！」や「すごいね！」などという意味です。洛陽の人から教えてもらって初めて知った河南省の言葉が“中”でした。今回洛陽へ行ってとても素晴らしかったので、タイトルとして使うことにしました。



## 洛陽へ行って

### “我喜欢吃水饺！ wo xihuan chi shuijiao!” ~大好き水餃子！~

ホストファミリーの家や洛陽第二外国語学校で水餃子づくりを体験しました。みんなで皮から手づくりなので、茹で上がったらもちもちしていておいしいです。ホストファミリーのお母さんが私のリクエストにこたえてニラと卵の餡を準備してくれました。とても嬉しかったです。

水餃子は主にお祝いの時に食べられると教えてもらいました。また、水餃子の形についても聞くことができました。清朝まで使われていた“马蹄银（马蹄銀）”というお金に似せていて、「お金に恵まれるように」という意味がこめられているそうです。

大勢の人といっしょに作る時のにぎやかな雰囲気、大きなお皿にたっぷりのせてくれたできたての水餃子はとっても美味しそうに見えます。そしてみんなでお腹いっぱい食べられる水餃子が大好きです。



### “洛阳有地铁！ Luoyang you ditie” ~洛陽に地下鉄！~

休日の夜、ホストファミリーと一緒に老城の夜市へ。洛龍区にあるホストファミリーの家から歩いて地下鉄の駅へ行き、8分程乗ると老城区へ着きます。地下鉄の列車に洛陽の市花である牡丹の花がたくさん描かれていてステキだなと思いました。牡丹の花は中国の国花でもあります。ちなみに地下鉄の切符には1枚1枚白馬寺・洛陽博物館・閔林廟など観光地の絵が描いてありました。それもすごくステキだったのですが、自動改札口に回収されてしまいました。写真を取っておけばよかった…。

### “海碧 Haibi”



ホームステイ先のお母さんに「是非飲んでみて！」と勧められて飲んでみると、微炭酸でスッキリとしていました。私のはオレンジ味でしたが、他にも桃味があるそうです。洛陽へ行った時は是非ご当地ジュース“海碧”を飲んでみてください。

### “电子支付 dianzi zhifu” ~キャッシュレスの世界~

- ・ 今回ホストファミリーのお母さんと外出していて、現金を使っているところを見ることがありませんでした。
- ・ 地下鉄の切符も電子マネーで買っていました。レストランでお会計をするとき、スーパーのレジでお会計をするとき、タピオカミルクティーのデリバリーが家に届いたときもです。私が3歳まで中国へいた頃はまだ現金を使う人もいたそうですが、今はほとんどの人がWechat Pay “微信支付” やAlipay “支付宝” をかざしてOK！日本よりも早い！！

## 私のホストファミリー



洛陽にいる間お世話になった王さんご一家です。家族みんな優しく接してくれ、お母さんは日本語が話せます。子どもは3人、私を入れて4人！私とペアになってくれた中学1年生の女の子は中国舞踊がものすごく上手♡弟と妹もご飯を知らせに来てくれたり、一緒にお出かけしたり、最初は緊張したけど、皆さんのおかげで、洛陽を楽しむことができました。“谢谢你们！”いつか中国語でお話ができるように中国語の勉強を頑張ります！！

## 中国の伝統衣装

(↓洛陽古城散策)



中国の伝統衣装は主に「漢服」と呼ばれるものが多い。男女ともに襟があり、裾が足首まで長いのが特徴！

『Luoyang』この英語を聞いたことがあるだろうか。

この英語の日本語訳は、私たちの思い出の場所、『洛陽』だ！

## 竜門石窟

大きいものは 17m、小さいものは 2 cm で、すべて合わせて 10 万 体もの仏像が残っている！



## ホストファミリーとの生活



買い物に行ったり、観光地へ行ったりした！

## 餃子

中国では別れの際に餃子を食べる文化があるらしい…。



## ホームステイ先での食事！



美味しい(ハオチー)と言いながらホストファミリーの方と一緒に食べました！



## ！感想！

ホームステイ生活が始まったときはどうなることかと不安でいっぱいだったけれど、中国で生活をしてたくさんのいい思い出が作れた！価値観や生活の違いに戸惑うこともあったけどやっぱりすべて楽しかったな。私に、数えきれないくらいの思い出をくれた洛陽、ありがとう。そして、バイバイ。またね！

2023年  
7月25日~8月2日

# 中国見聞記

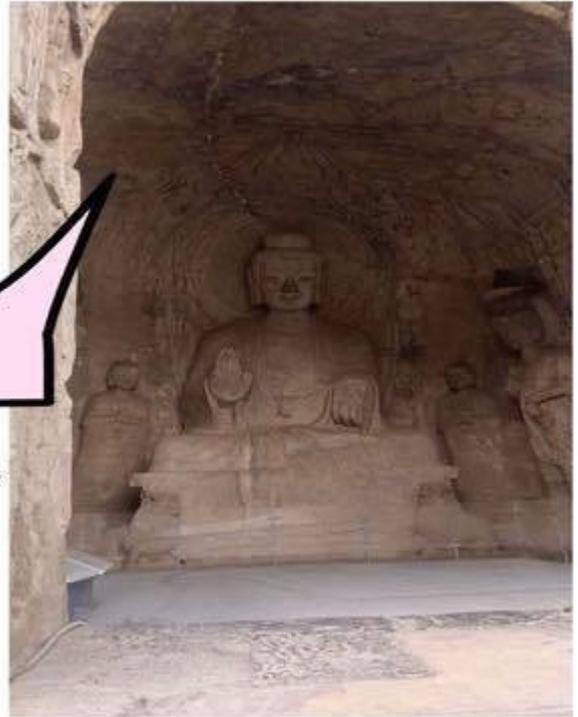
発行者

頼本哲生

中国の洛陽の黄河付近にある龍門石窟は北魏の孝文帝が建造し始めた石窟寺院です。これを人間が彫ったとは思えないほど大きかったです。龍門石窟には大小さまざまな石像があり、中には彩色されている石像もありました。

細部にまで石窟を掘っているのそこに注目！

龍門石窟は時代によって仏像の形が異なり、北魏のときには細かった仏像が唐の時にはふっくらした仏像になっています。北魏の孝文帝の時代から建造され始めた龍門石窟は色々な王朝の変遷を経て唐の時代まで建造されました。ヨーロッパの人達が自国に持って帰った遺物が各国にあるらしいです。



中国で食べた物は肉饅頭やお粥、北京ダックが美味しかったです。肉饅頭は外食や外国語学校でバイキングをしたときに食べました。味は日本の肉饅頭よりかは少し油っこかったです。主食であるお粥は出ましたが、ホストファミリーの家と外食で、2回しか食べませんでした。味は日本のお粥と同じ味です。北京ダックは日本に帰る前に中国で食べました。食べれたことがとても嬉しかったです。北京ダックは皮がパリパリしていませんでした。肉も皮も柔らかかったです。

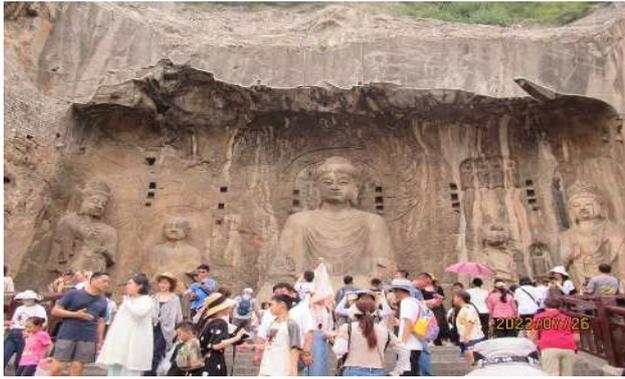


地下鉄の切符は日本の地下鉄の切符より固く、形がICカードぐらい大きいです。切符の購入の仕方は全て券売機でカードを読み込んで購入していました。座席は日本の座席のように布で出来ていなくて冷たくて硬い材質でできていました。柔らかくはなかったけれどひんやりしていて座ったら気持ち良かったです。座席や優先座席の色も日本の青色や茶色、深緑色とは違い水色やピンク色です。

# 中国 洛陽新聞

発行者  
松嶋 悠成  
発行日

## 世界遺産 竜門石窟はすごい迫力だった！



僕は中国の洛陽市に岡山市子ども海外派遣事業で、ホームステイに行ってきた。洛陽市で有名な竜門石窟は、断崖絶壁に高さ最長17mから2cmの像まで、約10万体の仏像が大量に並んでいて、その数と迫力に圧倒されました。

## 中国での生活を体験！ 蝉(セミ)を食べてみた！



ホームステイ先は32階建ての高層マンションの16階で、マンションの1階にはコンビニやスーパー、洋服店が並んでいます。中国のお風呂は浴槽がなくシャワーだけだったり、水道水は飲めないなど日本とは違った生活に最初は不安でしたが、すぐに慣れる事が出来ました。

洛陽市で有名な花の牡丹の焼き物を作るところに行きました。これは牡丹の焼き物を絵に貼り付け、絵から牡丹の花が飛び出しているような作品のようでした。

この焼き物を作る職人の人達は、この焼き物の花1枚1枚に本物の牡丹の花の模様を付けて製作しています。



### 家族との繋がり

最初は慣れない言葉と文化や環境に戸惑いや焦りがありました。ホストファミリーが中国語を話せない僕に英語で会話してくれたりして、そのような心配は無くなり、とても嬉しく思い

僕は最初、中国の子供達はスマホだけでなく、様々な電子機器を使いこなしていると思っていましたが、交流する中で、意外と日本の子供の生活と変わらないことが分かりました。



### 洛陽で学んだこと

今回の岡山市子ども海外派遣を通して、お互いの国の言葉や文化の違いや特徴を知ることが出来ました。

この経験を活かして、これからは広い視野、様々な視点で物事を見ていくことで、差別や偏見を無くしていき、色々な国の人と一緒によりよい社会やよりよい世界を

# in 洛陽 & 上海

～ 中国での生活～

矢野あこ

はじめに

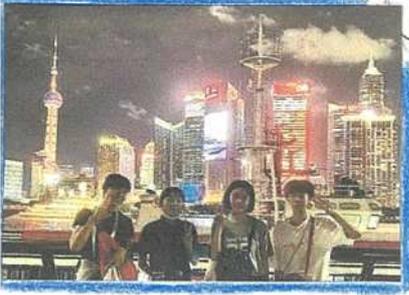
まだまだこれだけじゃない、沢山の思い出があります  
私が1日1日をまとめるとこんな感じです。  
スマホを見ると1700枚の写真が保存されてました  
さらに私が中国に行くと考えたこと思ったことは  
写真よりも沢山あります。それだけ中国は  
鬼ヶ島的な場所だったと私は思います。



1日目

まずは、上海!

豫園商業で中国料理を  
食べて沢山買い物をした。  
上海の夜景はとてもステキ☆



2日目

洛陽に到着!

洛陽博物館には歴史ある展覧品があり  
見ていて楽しかった。龍門石窟の迫力はすごかった  
その後、ホストファミリーの人と初対面! 緊張したけど



↑  
ホストファミリーの  
シカンちゃん

大白兔奶糖 白兔奶糖  
(ダブ-バットゥ-ナ)  
オススメ!

中国の琴を弾いたり、中国語の歌を  
歌ったり楽しく過ごした。午後からは

牡丹陶磁器を見に行った。とても  
綺麗な馬の置き物を買った。  
いい買い物をした ☆☆☆ 

初めての  
ライチとマングスチン

3日目

4日目

朝ごはんは私の大好きなフルーツばかり!  
漢服を初めて着た。暑くて暑くてしんどかったから  
けど気分上がって楽しかった。  
みんな似合ってた ☆☆☆



世界遺産



5日目

ショッピングモールでお土産を買いに行った。  
中国で流行ってるものを買ったり、UFOキャッチャーで  
遊んだりホストファミリーの人と楽しい時間を過ごした!



6日目

二里头博物館に行って  
スタンプラリーをした。けど1つみっから  
はかた 不吉 昼寝をして夜はまた  
漢服を着て応天門へ行った。  
老街を歩いて中国のやまそばを  
食べた。細麺でピリ辛



7日目

全員でぎょうざを作った。皮を1つ1つ  
伸べていてさすが本場のぎょうざ  
だけなあと思った。牡丹の絵を  
描くのは難しかった ☆☆☆ 

8日目 最後の日

現地の人とお別れするのは寂しかった。  
また次、いつ洛陽に行けるか楽しみでもある。

